

令和8年度 第1回 神奈川県立鎌倉高等学校 学校運営協議会 議事録

1. 日時

令和8年5月21日（木） 15時00分～16時30分

2. 場所

神奈川県立鎌倉高等学校 大会議室

3. 出席者

- 委員：田邊克彦、齋藤貴、高木亮、牛見誠人、菅野喜八、石渡藍子、小島嘉男
欠席：加藤俊志
- 事務局：佐藤文美、石塚隆夫、徳山めぐみ、比良剛、石川比呂子、佐藤靖彦、中野兼、柴田克也、藤尾峻太郎
欠席：林孝弘

4. 議事

1 校長あいさつ

4月より着任

生徒の表情が良く、教員も生徒にパワーをもらっている。

2年後に100周年を迎える。卒業生の想いを大事にして迎えたい。

2 学校運営協議会の開催にあたって

(1) 学校運営協議会委員の委嘱

校長から各委員へ委嘱状を渡す。

(2) 学校運営協議会委員及び事務局員紹介

学校運営協議会委員、事務局員が1人ずつ自己紹介。

(3) 学校運営協議会について

副校長から規則の説明。第3条（6）が追加された。

(4) 会長及び副会長の選出

田邊委員が会長に、加藤委員が副会長に選出され、承認された。

3 協議

(1) 学校運営協議会の組織について

学校運営協議会委員 8 名が学校評価部会の委員に選出される。

キャリア部会の設置。キャリア部会の構成員は 12 名（田邊会長、加藤委員、牛見委員、石渡委員、佐藤副校長、林教頭、徳山教諭、石川総括教諭、佐藤総括教諭、比良総括教諭、中野教諭、柴田総括教諭）

(2) 令和 8 年度神奈川県立鎌倉高等学校の学校運営について

ア 学校の教育計画に関すること

令和 6 年度から 4 年間の目標なので変更なし。キーワードは「総合知」。本校は SSH の指定を受けており、神奈川県では本校のみ文理融合基礎枠。

イ 教育課程の編成に関すること

1、2 年生は 3 年生と教育課程が異なっている。理数探究基礎 2 単位を 1 年生で、理数探究を 2、3 年生で 1 単位ずつ履修する。3 年生になって文理が分かれる。

ウ 学校組織の編成に関すること

総括教諭 2 人が育休のため、2 人がグループリーダーを兼任している。

エ 学校予算の執行に関すること

適正に執行されているか確認する。

オ 学校施設及び設備等の管理及び整備に関すること

建物が老朽化しているが、限られた予算で整備する。

安全を最優先に、優先順位をつけて整備していく。

(3) 神奈川県立鎌倉高等学校の教育活動等について

副校長：校内グループ業務について説明。令和 8 年度学校評価（目標設定）について説明。

キャリア：昨年度塾に通っていない生徒が東大に合格した。専門学校 1 人、海外留学 1 人と多様な進路選択をしている。

生徒会：アメリカンフットボール部が県大会優勝、合唱部が全国大会出場を決めた。年々県大会上位進出の部が増えている。

(4)その他（意見交換）

菅野委員：倫理観のないニュースが多くなっているが、倫理の教育はどう行われているのか。

→小島委員：授業だけでなく、すべての教育活動を通して教えていく。

→中野教諭：江ノ電乗車マナーについてクレームが寄せられる。七里ガ浜高校と協力して乗車指導を行い、職員間で共有して指導に当たっている。

→菅野委員：近隣に住んでいて不快な思いをしたことがない。生徒は倫理観が高いと感じる。

田邊会長：闇バイトに対してどう対応していくのか。

→中野教諭：闇バイトを取り上げて何かをしているわけではない。生徒指導担当者会議で指示があるかもしれないので、従って対応する。

齊藤委員：学校運営組織は1年間の計画か。

→小島委員：育休中の総括教諭のうち1名は年度途中で戻る。

齊藤委員：理数探究基礎の内容はどの程度変更あるのか。

→比良総括教諭：1月に成果発表会を行う。広町緑地における実習を改善していく。

→齊藤委員：ループリックの内容はどのようなものか。

→比良総括教諭：今作成中なので、次の会議でお示しする。

→高木委員：成果発表会を外部の人が見られるように検討してほしい。地域の方に見てもらえると学校の理解が深まると思う。

齊藤委員：浪人する生徒の割合はどの程度か。

→石川総括教諭：10%を切る程度。

→齊藤委員：浪人する生徒にどう対応しているか。

→石川総括教諭：生活リズムが整うようにアドバイスや相談に乗っている。大手予備校に伺って激励してる。総合型選抜を受験する場合には、面接練習を行っている。

牛見委員：理数探究において、3年時の研究の深化とはどのようなことをやるのか。

→比良総括教諭：現3年生のK-ARPで先行して追実験を行っている。

→牛見委員：文系の探究はどう指導しているのか。

→比良総括教諭：各班にゼミ担当がついているので、ゼミ担当の助言のもと行っている。

→牛見委員：深化させるために、ミクロ的な視点だけでなく、マクロ的な視点も持つと良い。

田邊会長：大学に入学することが困難ではない時代だが、高い目標を持つての浪人なのか。

→石川総括教諭：第一志望を貫いた結果である。昨年度、難関大を受験した人数が多くなった。

→田邊会長：受験して後悔はないのか。

→石川総括教諭：努力の部分で振り返ることはあるが、チャレンジして悔いはないと生徒は言っている。

田邊会長：広町実習のようなフィールドワークは地域の方との交流が生まれるが、何か行っているか。

→佐藤総括教諭：地域の方との交流については発展性がある。広町まで行くのに時間がかかるため難しい部分がある。

田邊会長：SSH トピックが乏しいと以前話題になったが、何か行っているのか。

→比良総括教諭：全教員に声掛けを行っている段階。

→小島委員：授業観察を通じて声掛けを行っている。

→田邊会長：他校の例はあるのか。

→比良総括教諭：神奈川県他校では行っていない取組なので、自分たちで発展させる必要がある。また他県の視察も必要。

田邊会長：部活動の遠征にかかわる事故はあるのか。

→佐藤総括教諭：把握している分ではない。バス遠征も業者に依頼している。

4 事務局から

(1) 今後の日程等について

第2回学校運営協議会は12月を予定

(2) その他

弦楽部がクラウドファンディングを行っている。